［国語の学習方法］

１　授業への取り組み方

１「学習課題」を意識して授業を受ける。
２　授業で用いる学習用具を点検し、課題や提出物は、期限を守って確実に提出する。
３　黙読の基本は音読にあり。
４　音読班による活動では、一文リレーや司会、発表、記録などの役割を果たす。
５　調べ学習やプレゼンテーション、スピーチなどの学習で効果的に表現する力を養う。
６　語彙力を身につけるため、日ごろから新出語句や難義語の意味を辞書で調べる習慣を、身につける。

２　ノートの取り方

１　右利きの人は、左手でノートを押さえて、（左利きの人は、その逆）両手を使ってノートを丁寧に書く。姿勢が大事！
２　学習課題や重要語句は色分けする。後日、見て内容がわかるように工夫する。
３　１・２年生はＢ５版Ａ罫が望ましい。リング式バインダー式は不可。
４　教師が板書しなくても、解説した内容は、すばやくノートやプリントにメモを取る。
５　配布されたワークシート（プリント）は、授業終了後、国語ファイルに挟んで保管する。または、のりでノートに貼る。→ 復習すること。

３　家庭学習の仕方

１　自主学習ノートに重要語句を復習する。
２　文法（文の成分、単語の識別、用言の活用、助詞・助動詞）を自主勉で復習する。古文漢文などは全文を視写するなどして、必ず復習する。
３「漢字のスキル」の漢字を覚える。

４　試験勉強の仕方

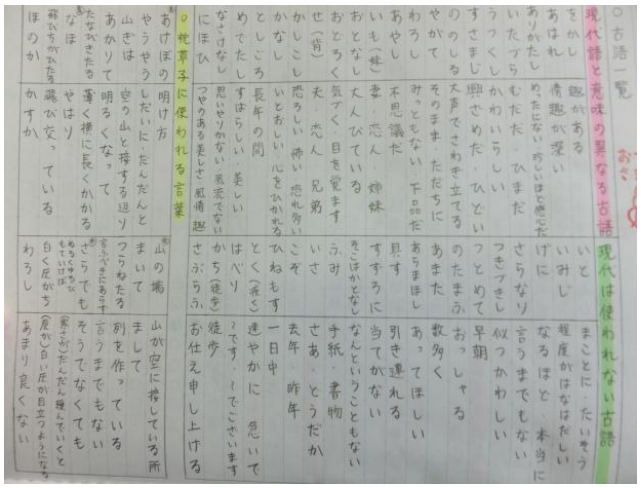
１　テスト範囲一覧表を見て、テスト期間中の計画を立てて、復習を行う。
２　文学的文章、説明的文章、古文、漢文、詩歌、短歌、俳句などは音読に力を入れる。
３　漢字、語句の意味、短文作りを、ノートに書いて復習する。
４　文法に関する内容を必ず出題する。
５　ワーク、単元確認テストを復習する。

５　その他

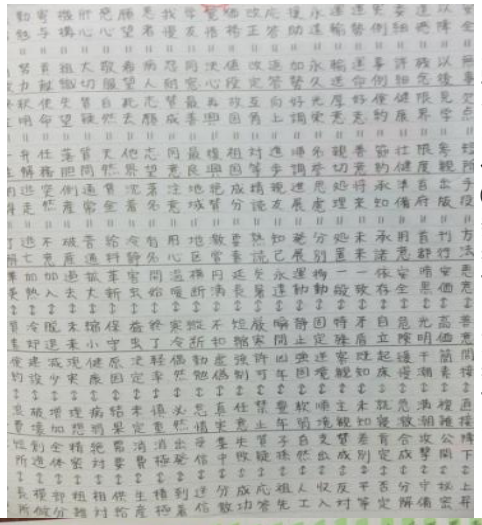
１　毛筆の学習は、５月上旬に実施する。
２　夏・冬休みの出校日に、生活文か読書感想文などの課題を提出する。
３　漢字検定は、年３回実施する。受検者は、各自で問題集を用意し、計画的に学習する。

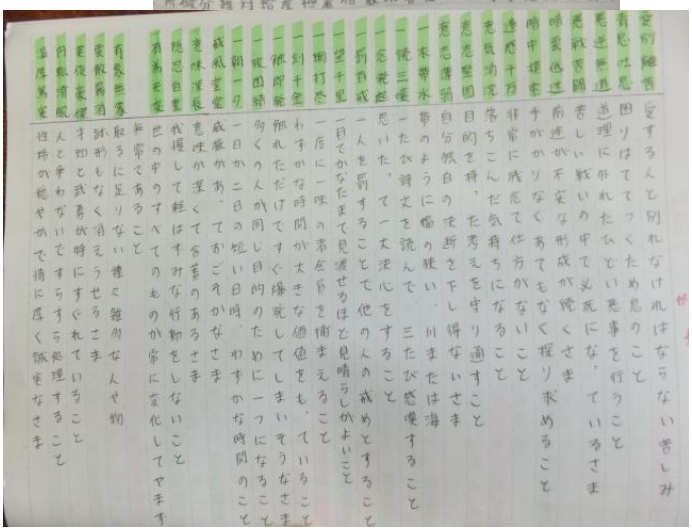
漢字検定：８月２１日（金）夏休み中
１１月　６日（金）
平成２８年　２月　７日（日）１・２年

６　自主学習　取り組み方の例



自主学習の例①古語の意味の違い



自主学習の例②類義語・対義語←

自主学習の例③四字熟語と意味
※次の漢字コンテストは四字熟語
１～３年生　共通問題（一学期）